

## 報告 1 令和6年度文化財保護・調査・普及事業の報告について

### 1. 保護・調査事業

#### ① 取掛西貝塚保存事業

報告3「取掛西貝塚保存活用事業」で報告

#### ② 開発等に伴う埋蔵文化財に関する業務

開発等事業者と調整協議し、必要な発掘調査の実施等、埋蔵文化財保護業務を実施した。(業務実績については、別冊資料1～4ページ参照)

#### ③ 開発等に伴う発掘調査(本調査)11件

No.	遺跡名	場所	時代・主な検出遺構	備考
1	印内台遺跡群(90)	西船2丁目	古墳～平安時代ピット、中世地下式坑・掘立柱建物跡・柵列・土坑・ピット	委託
2	印内台遺跡群(93)	西船1丁目	中・近世溝状遺構・土坑・ピット	直営
3	海老ヶ作貝塚(7)	大穴南4丁目	縄文時代小竪穴・土坑・ピット	直営
4	川ノ上遺跡(10)	飯山満町1丁目	縄文時代土坑・ピット、弥生時代竪穴住居跡、古墳時代竪穴住居跡、奈良・平安時代竪穴住居跡・土坑・ピット、中・近世溝状遺構・土坑	委託
5	高根木戸北貝塚(4)	西習志野1丁目	縄文時代竪穴住居跡・土坑・ピット、中・近世溝状遺構	委託
6	中野木台遺跡(25)	中野木2丁目	縄文時代(早期)遺物包含層・竪穴住居跡・炉穴・土坑・ピット	県費補助 直営
7	夏見台遺跡(81)	夏見6丁目	古墳時代竪穴住居跡、奈良・平安時代竪穴住居跡、中・近世溝状遺構ほか	直営
8	東中山台遺跡群(89)	西船6丁目	奈良・平安時代竪穴住居跡、中世台地整形区画・貝敷道路・土坑・ピット	委託
9	東中山台遺跡群(90)	東中山2丁目	奈良・平安時代竪穴住居跡・ピット	直営
10	船橋御殿跡(2)	本町4丁目	古墳時代竪穴住居跡・溝状遺構・土坑・ピット	委託
11	ユルギ松遺跡(14)	飯山満町2丁目	中・近世溝状遺構・土坑・ピット	直営

※上記本調査には「確認・本調査」4件を含む(No.2・7・10・11)

※No.5は令和5年度から継続。No.8は令和7年度へ継続。

※No.4・6は遺跡見学会を実施(詳細は普及事業で報告)

#### ④ 開発等に伴う発掘調査（確認調査）21件

No.	遺跡名	場所	No.	遺跡名	場所
1	印内台遺跡群（92）	印内2丁目	12	西駿河台遺跡（6）	駿河台1丁目
2	印内台遺跡群（94）	印内2丁目	13	東中山台遺跡群（88）	東中山2丁目
3	印内台遺跡群（95）	印内2丁目	14	東中山台遺跡群（89）	西船6丁目
4	請野遺跡（1）	小室町	15	東中山台遺跡群（90）	東中山2丁目
5	川ノ上遺跡（10）	飯山満町1丁目	16	藤原観音堂貝塚（5）	藤原3丁目
6	坪井向遺跡（1）	坪井町	17	三山貝塚（1）	三山2丁目
7	飛ノ台貝塚（15）	海神4丁目	18	宮本台遺跡群（88）	東船橋3丁目
8	中野木台遺跡（26）	中野木2丁目	19	宮本台遺跡群（89）	東船橋7丁目
9	夏見大塚遺跡（39-2）	夏見5丁目	20	ユルギ松遺跡（15）	飯山満町2丁目
10	夏見大塚遺跡（40）	夏見2丁目	21	ユルギ松遺跡（16）	飯山満町1丁目
11	夏見台遺跡（82）	夏見3丁目			

※5・8・9・17は国庫補助事業（市内遺跡発掘調査報告書に掲載）

※5・14・15は本調査実施

#### ⑤ 発掘調査報告書刊行 7冊

No.	報告書名	時代・主な検出遺構	備考
1	令和6年度船橋市内遺跡発掘調査報告書	確認調査4遺跡	国庫補助事業
2	川ノ上遺跡（9）	近世溝跡他	直営
3	坂ノ上遺跡（1）	縄文時代土坑他	直営
4	東中山台遺跡群（85）	奈良・平安時代竪穴住居跡他	委託
5	夏見台遺跡（79）	古墳～平安時代竪穴住居跡	直営
6	佐倉道南遺跡（9）	縄文時代土坑他	委託
7	平成27・28年度船橋市市費単独事業遺跡発掘調査報告書	確認調査27遺跡50地点	直営

※このほか、飛ノ台史跡公園博物館において『船橋市 指定文化財（史跡）飛ノ台貝塚第1・2次発掘調査報告書（自然遺物編）』（飛ノ台史跡公園博物館紀要第21号）を刊行している。

## ⑥ 未指定文化財の調査 5件

No.	日時	文化財名	会場・団体名等	備考
1	7/13	湊町八劔神社例祭（陰祭り）	船橋大神宮・湊町等神輿会	3年に一度本祭を開催
2	7/21	本町八坂神社例大祭	船橋駅～本町、本町神輿会	会場を神輿渡御し、ゆすりこみを実施する
3	7/22、23	印内八坂神社例祭	印内町八坂神社・神社氏子	子供、大人の神輿渡御
4	9/3	山野町浅間神社 富士講	山野浅間神社 富士講中	毎月3日に講を実施
5	10/13	古和釜のマアチ	八王子神社・神社氏子	下総三山の七年祭りの中年に実施

※このほか、市内建築物等調査については別冊資料5～9ページにて報告

## ⑦ しものまきふたわのま 下野牧二和野馬土手の草刈り、樹木剪定

年2回（7月・10月）草刈を実施した。

## ⑧ 指定文化財補助事業

「船橋市文化財保護事業補助金交付要綱」に基づき、20件の指定・登録文化財の所有者等に管理伝承費の補助を行った。また、下記2件に修理等費用の補助を行った。

文化財名	修繕等内容
飯山満町大宮神社の神楽	神楽殿の修繕
梯子乗りと木遣り歌	梯子の新調

## ⑨ 文化財防火デー

1月26日の文化財防火デーに合わせて、例年4～5か所で、消防署・文化財所有者・近隣住民と協力して消防訓練を実施している。令和6年度は3か所で開催したほか、1か所で文化財所有者とごく一部の関係者で避難訓練や消火訓練のみ実施した。

## 2. 普及事業

市内にある文化財の活用・公開を促進するとともに、文化財の周知に努めた。文化財説明板設置、遺跡見学会や取掛西貝塚の国史跡指定を記念した展示・講演会の開催、講師派遣、ホームページ作成・更新やSNSでの情報発信を行った（別冊資料10ページ）。今後も文化財の活用・公開を促進するとともに、文化財の周知に努めていく。

### ①-1 遺跡説明板の設置 3か所

国庫補助金（地域の特色ある埋蔵文化財活用事業）を活用し、遺跡説明板を3基設置した。説明板には二次元コードを表示し、市ホームページを参照できるようにしている。新たな取組として、坪井近隣公園に設置した「源七山遺跡」の説明板では、周辺の文化財や説明板の案内図もあわせて表示し、地域の文化財へ興味をもってもらう工夫をした。

No.	遺跡名	設置場所
1	源七山遺跡	船橋市坪井町 1371 番（坪井近隣公園）
2	上竹遺跡（3）	船橋市坪井町 742 番 2（坪井町 7 号公園）
3	夏見台遺跡（52）	船橋市夏見 4 丁目 822 番 2（夏見台東公園）

### ①-2 文化財説明板の設置 1か所撤去・更新、1か所表示面のみ撤去・更新

1基の説明板を新しいものに更新した。また、1基の説明板を表示面のみ更新した。英語の併記に加え、中国語（簡体字）・韓国語の解説をホームページで閲覧可能とした。

No.		文化財名	設置場所	備考
1	撤去・設置	木造毘沙門天立像・板碑	船橋市大神保町 2 8 2 （西福寺）	市指定文化財
2	表示面 撤去・設置	大仏追善供養	船橋市本町 3 丁目 4 番 6 号（不動院）	市指定文化財

### ② ふなばし歴史・文化クイズラリーの実施

船橋駅周辺に設置されている遺跡説明板や文化財説明板を対象としたクイズラリーを11月から2月間に実施し、295人の参加があった。クイズへの参加賞や景品には船橋市のキャラクターや文化財をモチーフとした缶バッジを配布し、周知活動を行った。

### ③ 遺跡見学会・体験発掘 4回 参加者総数 538人

令和6年度は2箇所の遺跡にて発掘調査現地説明会を開催したほか、近隣小学校の児童を招いて遺跡見学授業を2回実施した。また、本調査の現場では、フェンスなどに現場・遺物写真に説明を加えたものを掲示するなど、近隣への周知を図っている。

No.	遺跡名	開催日	見学者数
1	中野木台遺跡（25）発掘調査現地説明会	8月10日（土）	200人
2	川ノ上遺跡（10）発掘調査現地説明会	12月14日（土）	208人
3	川ノ上遺跡（10）遺跡見学授業（飯山満南小）	12月10日（火）	90人
4	川ノ上遺跡（10）遺跡見学授業（芝山東小）	12月18日（水）	40人

④ 展示・講演会 埋蔵文化財 2件 参加総数 377人

名称	会期	参加者数
中央大学 学術講演会 「取掛西貝塚からさぐる縄文の暮らし」（中央公民館）	9月29日（日）	130人
取掛西貝塚講演会 「～約1万年前の縄文ワールド第7弾～取掛西貝塚を考える ～石器からみた1万年前の暮らし～」（きららホール）	3月9日（日）	247人

⑤-1 講師派遣・講座 埋蔵文化財 10回 参加者総数 567人

No.	講演名	開催日	参加者数
1	貝のワークショップ「船橋の貝と土で絵の具づくり～縄文土器を描こう～」（飛ノ台史跡公園博物館）	4月29日（月）	7人
2	出前講座【遺跡から見る地域の歴史】（夏見公民館）	5月9日（木）	78人
3	出前講座【遺跡から見る地域の歴史】（中央公民館）	7月26日（水）	10人
4	貝のワークショップ「船橋の貝と土で絵の具づくり～縄文土器を描こう～」（飛ノ台史跡公園博物館）	7月26日（水）	9人
5	出前講座【国史跡 取掛西貝塚を知ろう】（葛飾公民館）	10月15日（火）	31人
6	出前講座【国史跡 取掛西貝塚を知ろう】（薬円台公民館）	1月14日（火）	36人
7	ふなばし FUN FAN FESTA 体験エリア 船橋の貝を使ったワークショップ&取掛西貝塚展示	1月18日（土） 1月19日（日）	300人
8	令和6年郷土資料館セミナー 東葛の建造物 「玉川旅館と船橋の沿岸部の歴史」（鎌ヶ谷市郷土資料館）	1月19日（日）	40人
9	ワークショップ「1万年前の縄文汁を作ろう」 （三番瀬環境学習館）	3月1日（土）	17人
10	出前講座【遺跡から見る地域の歴史】 （デュオセーヌ船橋高根台）	11月25日 （土）	39人

⑤-2 講師派遣・講座 歴史文化財 3回 参加者総数 122人

講演名（担当）	開催日	参加者数
出前講座【市の文化財】（海神公民館）	6月7日（金）	32人
千葉の海辺、新聞コンクール（海と日本2024）講師派遣 *海ノ民話「雪どけ塚の白へび」（夏見公民館）	11月16日（土）	12人
出前授業 野馬土手 二和小学校3年生3クラス	12月18日（水）	78人

市指定史跡 下野牧二和野馬土手について、学校に出向き授業を行った。指定となった翌年の平成30年度から、隣接地にある二和小学校3年生を対象に行っている。

### ⑥ 研修生・職場体験受け入れ

名称	学校・団体名	受入日	参加者数
職場体験	大穴中学校	12月11～12日	1人

### 3. その他

「船橋市文化財保存活用地域計画」策定に向け、市民の文化財や文化資源に対する意識を把握するとともに、現在把握できていない船橋の文化資源を掘り起こすことを目的として、令和6年9月に市政モニターアンケートを実施しました（別冊資料24～54ページ）。

## 報告2 令和7年度文化財保護・調査・普及事業の計画について

### 1. 文化財保護・調査

開発等事業者と調整協議し、必要な発掘調査の実施等、埋蔵文化財保護業務を実施する。また、文化財審議会委員や各分野の研究者の協力を得て、指定・未指定の文化財の調査を継続して行う。必要に応じて、郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館と連携する。

#### ① 取掛西貝塚保存事業

史跡取掛西貝塚保存活用計画により、保存活用事業を推進する。総括報告書で残された課題について研究を継続し、遺跡の価値をさらに高める。

市民に取掛西貝塚を広く知っていただくため、講演会を実施する。

#### ② 開発等に伴う発掘調査（埋文調査事務所）

No.	遺跡名	時代・主な検出遺構	備考
1	東中山台遺跡群（89）	奈良・平安時代竪穴住居跡他	委託
2	宮本台遺跡群（90）	縄文時代土坑	直営
3	東中山台遺跡群（91）	奈良・平安時代土坑	直営
4	新山貝塚（5）	縄文時代土坑	直営
5	夏見大塚遺跡（41）	古墳時代竪穴住居跡他	直営
6	ユルギ松遺跡（16）	縄文時代竪穴住居跡他	委託
	その他本調査 10 件予定		未定
	その他、 確認調査 27 件予定		直営（市内遺跡 5 件含む）

#### ③ 報告書刊行（埋文調査事務所）

No.	遺跡名	時代・主な検出遺構	備考
1	令和7年度船橋市内遺跡発掘調査報告書	縄文時代～近世	国庫補助事業
2	高根木戸北貝塚（4）	縄文時代中期 竪穴住居跡、土坑、中近世遺構	委託
3	中野木台遺跡（25）	縄文時代早期、平安、中世、近世時代 竪穴住居、炉穴、土坑等	直営

4	印内台遺跡群 (90)	旧石器、縄文、古墳～平安、中世時代 中世地下式土坑、堀立柱建物跡、ピット等	委託
5	海老ヶ作貝塚 (7)	縄文時代中期 小竪穴、土坑、ピット	直営
6	川ノ上遺跡 (10)	旧石器、縄文～平安、中世、近世 竪穴住居跡、土坑、ピット等	委託

④ 海老ヶ作貝塚整理作業 (埋文調査事務所)

遺跡名	時代・主な検出遺構	備考
海老ヶ作貝塚 (2)	縄文時代竪穴住居跡他	国庫補助事業 直営・委託

⑤ 指定・未指定文化財調査 (文化課)

文化財名	調査内容	備考
市内の神楽の調査	市内5つの神楽について、記録を作成する。	
市内の祭礼の調査	市内で行われる祭礼の調査。	
市内の古民家調査	古民家の調査し、記録保存を行う。	森田呉服店他

⑥ 下野牧二和野馬土手 (文化課)

年2回草刈を実施し、保護に必要な維持管理続けていく。  
 近隣の二和小学校の3年生を対象に野馬土手の貴重性を伝えていく授業を実施する。

⑦ 指定文化財補助事業 (文化課)

市内の指定・登録文化財の管理伝承費や緊急修繕等に対し、補助を行っていく。

## 2. 普及事業

引き続き、文化財説明板の設置を行う等、普及活動を積極的に行う。

① 文化財・遺跡説明板の設置・改修 (文化課)

文化財・遺跡名	設置場所	設置数
文化財説明板の新設・建替え	検討中	2基予定
遺跡説明板の新設	新山遺跡、夏見台遺跡、東町遺跡	3基予定

② 刊行物 (文化課)

普及用遺跡マップ (第10版) 1万部と取掛西貝塚リーフレット・パンフレット1.5万部を刊行し、すでに昨年度に刊行した児童向けパンフレットとあわせて市内の小中学校 (中学1年

生・小学3・6年生全員)に重点的に配布し、市内博物館・図書館等公共施設で市民に配布する予定。

No.	刊行物名	主な内容	販売・配布先
1	遺跡マップ 第10版	1万部・無料	市内中学校1年生・博物館・公民館等に配布
2	パンフレット 第3版 「史跡取掛西貝塚 1万年前の貝塚からみえる暮らしと環境」	1.5万部・無料	市内中学校1年生・博物館・公民館等に配布
3	リーフレット 第4版 「取掛西貝塚ってどんな遺跡？」	1.5万部・無料	市内小学校6年生・博物館・公民館等に配布
4	パンフレット 第3版 「1万年前の世界をのぞいてみよう」	2万部・無料	市内小学校3年生・博物館・公民館等に配布

### ③ 遺跡見学会（埋文調査事務所）

遺跡名	開催日
東中山台遺跡群（89）	令和7年5月18日
ユルギ松遺跡（16）	未定

### ④ 展示・講演会 埋蔵文化財 1件 定員210人（文化課・埋文調査事務所）

名称	会期	定員
取掛西貝塚講演会 「～約1万年前の縄文ワールド 第8弾～ 取掛西貝塚を考える」きららホール	3月15日（日）	210人

### ⑤-1 講師派遣・講座 埋蔵文化財（文化課・埋文調査事務所）

No.	講演名（担当）	開催日	参加人数（予定）
1	【千葉ジェッツふなばしホームタウンフェスティバル】 取掛西貝塚の展示と出土した貝での絵具づくり (浜町中央公園)	4月13日（日）	200人
2	出前講座【国史跡 取掛西貝塚を知ろう】 (夏見公民館)	5月8日（木）	80人
3	出前講座【国史跡 取掛西貝塚を知ろう】 (旭ヶ丘町会会館)	8月25日（月）	15人

4	出前講座【国史跡 取掛西貝塚を知ろう】 (法典公民館)	10月9日(木)	100人
5	くらしの教養学科1・2(ふなばし市民大学校)	11月6日(木)	57人
6	千葉県北西部地区文化財発表会(野田市櫛のホール)	1月17日(土)	未定

### ⑤-2 講師派遣・講座 歴史文化財(文化課)

No.	講演名(担当)	開催日	参加人数 (予定)
1	出前授業 野馬土手 二和小学校3年生	未定	80人

### ⑥ 研修生・職場体験受け入れ

名称	学校・団体名	受入日	参加者数
未定			

※埋蔵文化財調査事務所では、考古学を学んでいる学生を会計年度任用職員として雇用し、発掘調査等の経験を積む場の提供を積極的に行っている(大学院生1名、学部生2名)。

## 3. その他

### ① (仮)「ふなばし歴史・文化クイズラリー」の開催(文化課)

昨年実施したクイズラリーを基に、市内の文化財説明板や遺跡説明板などを用いたクイズラリーを開催する。

### ② 包括連携協定事業

#### 1. 株式会社大木無線電気

ドローンによる写真・映像撮影の技術を活かし、取掛西貝塚をはじめとした市内遺跡など、周辺の環境(地形)がわかるように写真・動画撮影を行う。作成した映像等は市内小学校など、教育現場で活用する予定。

#### 2. 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

事業者の実施している健康促進ウォーキングマップ作成事業と連携し、市内の歴史や文化に絡めたマップを作成する。作成したマップは市や同社ホームページ等で公開する。

## 報告3 取掛西貝塚保存活用事業の報告について

### 1. 令和6年度事業報告

#### (1) 史跡取掛西貝塚保存活用計画

- 令和6（2024）年4月1日から令和16（2034）年3月31日までの10年間の計画がスタートした。今後、史跡の保存活用について、本計画に沿って取り組んでいく。  
また、令和6年12月20日付けで、文化財保護法第129条の2第4項の規定により、文化庁長官から計画の認定を受けた。

#### <参考>文化財保護法

第129条の2 史跡名勝天然記念物の管理団体又は所有者は、文部科学省令で定めるところにより、史跡名勝天然記念物の保存及び活用に関する計画（以下「史跡名勝天然記念物保存活用計画」という。）を作成し、文化庁長官の認定を申請することができる。

（中略）

4 文化庁長官は、第一項の規定による認定の申請があつた場合において、その史跡名勝天然記念物保存活用計画が次の各号のいずれにも適合するものであると認めるときは、その認定をするものとする。（以下、略）

#### (2) 保存管理

##### ① 現状変更の許可

- 船橋市による史跡用地管理のための囲い等の工事2件について、船橋市教育委員会が現状変更の許可を行った。

##### ② 公有地化

- 国庫補助金を活用し、1件（実測値1,050.01㎡）について史跡用地を取得した（別冊資料11ページ）。これにより、史跡指定地39,032.42㎡のうち、24.7%の9,648.51㎡が市有地となった（いずれも公簿面積）。残りの75.3%の29,383.91㎡は民地である。

なお、文化課が管理する史跡用地は、実測値で4,453.27㎡となった（その他市有地は道路用地等）。

##### ③ 維持管理

- 市が管理する史跡用地について、草刈りを実施し、劣化した木柵を鉄パイプに取り換える等、適切に管理した。
- 6年度に取得した土地について、新たに簡易な説明板を設置するとともに、畑等私有地への立ち入りについて、注意看板（バリケードに取り付け）を設置した（別冊資料11ページ）。

#### (3) 活用

##### ① 史跡の周知・啓発

- 講演会「取掛西貝塚からさぐる縄文の暮らし」（船橋市中央公民館）  
令和6年9月29日（日） 14:00～15:30（参加者 130人）

講師：小林 謙一氏（中央大学 文学部教授）

- 「取掛西貝塚講演会～1万年前の縄文ワールド第7弾～」(船橋市民文化創造館)

令和7年3月9日(日) 13:30～16:30(参加者247人)

講師：上篠 信彦氏(弘前大学)「礫石器が語る縄文時代のくらしー取掛西貝塚出土資料を中心にー」

講師：野口 淳氏(公立小松大学)「後氷期を切り拓く斧と縄文集落の展開」

- このほか、出前講座等に講師を派遣し、取掛西貝塚について周知をはかった(会議資料5ページ参照)。
- 遺跡マップ、取掛西貝塚リーフレット及びパンフレットを公共施設で市民に配布するとともに、出前講座等でも配布し、周知をはかった。

## ② 継続的な調査研究の実施と社会への還元

- 令和3年度から専門家の助言を受け取り組んできた植物遺体の継続研究について、原稿をとりまとめ、報告書を刊行した。また、動物遺体について、引き続き、基礎データの整備を行った。

## ③ 学校教育での活用推進

- 取掛西貝塚の周知のため、市内小学3年生に児童向けパンフレット、小学6年生にリーフレット、中学1年生に中級編パンフレットと遺跡マップを配布した。今後も、毎年、配布する予定である。
  - ・児童向けパンフレット「1万年前の世界をのぞいてみよう 取掛西貝塚」：市内小学3年生を中心に配布
  - ・リーフレット「取掛西貝塚ってどんな遺跡？」：市内小学6年生を中心に配布
  - ・パンフレット「取掛西貝塚 1万年前の貝塚から見える暮らしと環境」：市内中学1年生を中心に配布
  - ・「君の足元に眠る 船橋の遺跡マップ」：市内中学1年生を中心に配布

## ④ 博物館等を拠点とした生涯学習の推進

- 飛ノ台史跡公園博物館や三番瀬環境学習館、文化振興係(美術学芸員)と連携して、ワークショップを開催した(詳細は、会議資料5ページを参照)。

## (4) 整備

### ① 学習拠点としての博物館等の整備推進

### ② 市民が現地にアクセスしやすい環境の整備

### ③ 調査拠点施設および出土文化財の収蔵保管施設の整備充実

- 取得した土地に、新たに説明看板と畑地等私有地への立ち入り注意喚起の看板を設置した(バリケードに取り付け)(別冊資料11～12ページ)。
- 埋蔵文化財調査事務所を旧金杉台中学校に移転し、(仮称)埋蔵文化財調査研究センターとする改修工事について設計を行った。工事は令和7～8年度に実施する予定である。

## (5) 運営・体制

- 畑地の土地所有者(11名)を戸別訪問し、史跡の保存活用について説明した。
- 効果的に学校教育で活用推進をはかるため、令和5年度に配布した動画の活用について、アンケートを実施した(別冊資料13～25ページを参照)。

## (6) その他

- 令和5年度に加盟した全国史跡整備市町村協議会が発行した『全史協会報2024（令和5年度版）』に史跡取掛西貝塚の記事が掲載された。

## 2. 令和7年度事業予定

### (1) 保存管理

#### ① 現状変更の許可

史跡指定地における現状変更及び保存に影響を及ぼす行為について、文化財保護法その他関連規則・基準や保存活用計画に定める取扱方針及び取扱い基準に基づいて、史跡を確実に保存できるように適正に許可申請に対応する。

#### ② 公有地化と追加指定

国庫・県費補助金を活用し、1件（公簿面積4,820.50㎡）について史跡用地を取得する。7年度以降も継続して取得する予定である。未指定区域については、土地所有者へ丁寧に説明し、史跡指定の同意が得られた場合には、史跡の追加指定を行っていく。

#### ③ 維持管理

市が管理する史跡用地について、草刈り等を行い、適切に維持管理する。

### (2) 活用

#### ① 史跡の周知・啓発

- 取掛西貝塚講演会：「取掛西貝塚講演会～1万年前の縄文ワールド第8弾～」  
2名の講師をお招きして講演いただく予定（内容・講師：未定）  
日程：令和8年3月15日（日）13：00～16：30  
会場：船橋市民文化創造館（きららホール）
- 遺跡マップ、取掛西貝塚のリーフレットやパンフレットを市民に配布する（配布場所：市文化課、郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館のほか、出張所・公民館・図書館など市施設）。遺跡見学会や出前講座でも活用する。
- 出前講座  
「国史跡 取掛西貝塚を知ろう」と題し、申込があった市民団体等に出前講座を行う。

#### ② 継続的な調査研究の実施と社会への還元

- 動物遺体について、専門家に指導いただき、基礎データを整備する予定である。また、東京大学総合研究博物館の協力により、動物骨のストロンチウム分析を進めている。

#### ③ 学校教育での活用推進

- 継続してパンフレットやリーフレットを小学校3・6年生、中学校1年生に配布する。  
このほか、史跡のすぐ近くにある芝山西小学校で、史跡を知ってもらう機会が設けられないか、調整中。
- 8年度以降に教材として活用できるように、市が包括連携協定を締結した株式会社大木無線電気

によるドローン撮影の実施について調整中。

**④ 博物館等を拠点とした生涯学習の推進**

- 飛ノ台史跡公園博物館や郷土資料館、三番瀬環境学習館、文化課文化振興係（美術学芸員）と連携し、ワークショップ等普及事業を実施する（4/13 実施済み。その他は未定。会議資料8ページ参照）。

**(3) 整備**

**① 調査拠点施設および出土文化財の収蔵保管施設の整備充実**

- 埋蔵文化財調査事務所を旧金杉台中学校に移転し、(仮称)埋蔵文化財調査研究センターとする改修工事を令和7～8年度に実施する予定である。供用開始は8年度を予定している。

**(4) 運営・体制**

- 史跡の土地所有者及び近隣住民の方へ、戸別訪問のほか、ポスティングなどにより、史跡の保存活用について説明を行う。
- 学校教育での活用推進を図るため、動画の作成等について、教員等と意見交換を行う。活用を加速化できるように、8年度に会議体を設置することを目指している。
- 継続研究について、専門家による調査研究検討会を開催し、今後の進め方等について助言いただく予定である。
- 引き続き、全国史跡整備市町村協議会により情報を収集する。